

(本発表のお問い合わせ先)
文化財課
広報資料取扱主任: 波多野 篤
電話 879-0717

香南歴史民俗郷土館 共催展「第15回城山(じょうざん)まつり」会期延長!

全国的な緊急事態宣言を受け、4月22日(水)から臨時休館しておりました香南歴史民俗郷土館では、5月12日(火)から開館し、共催展「第15回城山まつり」の会期を7月5日(日)まで延長いたします。

1 内容

高松市香南町出身の儒学者、中山城山(なかやま じょうざん)ゆかりの展示資料を集めた共催展です。郷土の偉人、中山城山の業績を称え、その遺徳を偲び、顕彰することを目的に、城山の命日である4月23日にあわせて開催します。

～展示内容～

- ・香南小学校児童約60名、香南中学校約120名による絵画・書道作品
- ・中山城山ゆかりの顕彰碑文の大型拓本及び肖像画
- ・香川郡池西村立城山文庫図書資料(現在は同館収蔵資料)より、書籍や掛軸
- ・中山城山ゆかりの相関図、関連人物紹介パネル

2 見所

中山 城山(1763～1837)讃岐国香川郡横井(現、香南町横井)出身。荻生徂徠派で古文辞学を学び、城山塾を開講すると、高松藩を中心に600人余りの門下生が集まり指導しました。門下生には、藤澤東咳(ふじさわ とうがい)、藤川三溪、相馬九方、城山の息子である中山麓山(なかやま ごうざん)、火縄銃制作・測量で著名な久米通賢(くめ みちかた)、朝敵騒動から高松藩を救った藤澤南岳(ふじさわ なんがく)らがいます。

学問は儒学を始め、国学、医学などあらゆる分野に精通し、著作は『三教一帰論(さんぎょういっきろん)』など47部、125冊に及びます。中でも、現在の県史の重要資料となっている『全讃史(ぜんさんし)』は、讃岐国中の神社・仏閣・名跡をめぐり、歴史を調査し、藩主頼恕に献上した貴重な書物です。

今回の展示では中山城山関連書籍や、門人 藤川三溪(ふじかわ さんけい)の資料を展示し、城山が学んだ資料や城山ゆかりの人物を紹介します。

3 開催期間 (当初)令和2年4月18日(土)～5月24日(日)

⇒(変更後)4月18日(土)～7月5日(日)

4 開催場所 高松市香南町由佐253-1

高松市香南歴史民俗郷土館 2階市民ギャラリー、歴史展示室

5 開催時間 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

休館日は月曜日(休日の場合は翌日)

6 駐車場 有り(大型車3台、普通車10台)

7 観覧料 無料

8 主催 城山顕彰会

9 共催 高松市香南歴史民俗郷土館

■リンク:

・<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/bunka/kounanrekishi/index.html>

■添付資料:

・チラシ(会期延長)

